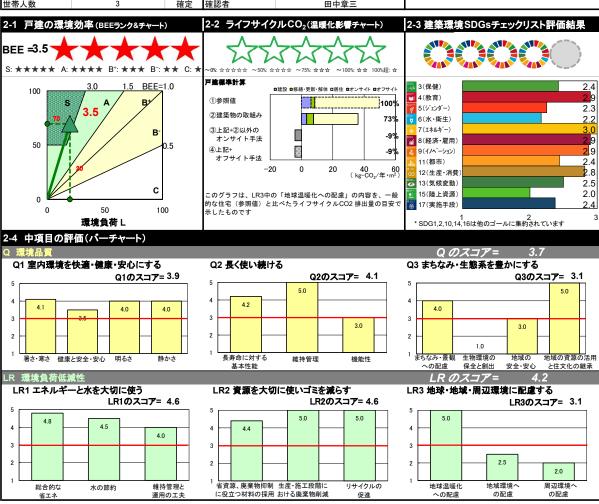
CBL-CAS戸建-0011-25 結果 (2-3SDGs)

【**八SBEE**[®]-戸建(新築)_{SDGs対応版}』評価結果

■使用評価マニュアル·CASBEE-戸建(新築)2021年SDGs対応版 ■使用評価ソフト: CASBEE-DH NC 2021SDGs(v1.0)





3 設計上の配慮事項 総合 長期にわたり健康で安全で省エネルギーな居住に供し、LCCO2がマイナスとなることを目指す住宅で、ZEHの上位概念となライフサイクルカーボンマイナス住宅(Life Cycle Carbon Minus)です。		その他
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする 断熱性能をランクアップ外皮平均熱貫流率以上とし、快適な温 熱環境を維持することで、健康に暮らせる住宅です。	計画点検と住宅履歴登録・保存・管理も行っており、不具合が	Q3 まちなみ・生態系を豊かにする 構造躯体・内外装材に、地域材の資源を活用し、住文化の継承につとめています。また、周りのまちなみや景観に対して調和がとれており、外構計画についても、多種の植栽、照明、塀について通りを演出する工夫が行われています。
LR1 エネルギーと水を大切に使う 暖冷房設備・換気設備・給湯設備・照明設備を各物件ごとに適 切に組み合わせ創エネ設備を含めず省エネ率30%を以上とし 太陽光に依存しすざないLCOM住宅です。LCCO2 6項目につい ては、特段の配慮をしています。また、HEMSを設置し消費エ ネルギーの確認のしやすさに配慮しています。	LR2 資源を大切に使いゴミを減らす 省資源・廃棄物抑制として、構造材には、持続可能な森林から 産出された木材を使用し、外装材・内装材には、再生可能材料 を積極的に使用しています。廃棄物削減への取組みとして、構 造材のプレカット加工、広域再生利用指定制度を取得したメー カーの材料を積極的に使用しています。	LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する 従前の土地を改変することなく、既存の自然環境の保全を 行っています。また、騒音、振動、排気、排熱の低減、周辺温 熱環境へも積極的な配慮が行われています。

- ■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

- ■Q: Qualkty (環境品質)、L: Load (環境負荷)、LP: Load Reduction (環境負荷低減性)、BEE: Bulk Environment Efficiency (環境効率)

 ■CASBEE全体の表記ルールに従えば、CASBEE-戸建(新築)の場合、BEE:, Q:, LR:,などとすべきであるが、本シート上では簡略化のためHを省略した

 ■「ライフサイクルCO2」とは住宅の部材生産・建設から居住、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量であり、ここでは住宅の寿命年数と延床面積で除した値を示す

 ■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q:,2、LR:,1中の住宅の寿命、省エネルギーなどの項目の評価結果から自動的に算出される(「戸建標準計算」の場合)
- ■ライフサイクルCO2の算定条件等については、マニュアルおよび「CO2計算」シートを参照されたい